

平成29年度（上矢部高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

○ 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
個人情報管理・情報セキュリティ	個人情報を適正に管理し、保護に努める。	① マニュアルを踏まえた管理の徹底を図った。個人情報の収集の調査を行い、その取扱いと保管を注意喚起した。各職員の机のカギの管理を実施し、関係文書の徹底管理を呼びかけた。また、教務手帳は所定のロッカーに一括管理を徹底した。 ② 廃棄確認を徹底し、管理職の確認の下で廃棄を適切に行った。特にテスト時のシュレッダーを禁止しミスによる解答用紙の廃棄防止に努めた。
セクハラ・わいせつ行為	人権に配慮した行動の徹底に努める。	啓発資料を活用して、生徒が相談しやすい学校環境の整備や日常の接し方などを確認した。その後、ポイントについて定着しているか点検を行った。引き続き日常的な職員同士の声かけの中で改善を進めていく。
体罰・不適切指導	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	① 体罰防止・不適切指導に向けた啓発資料を配付し、研修会を実施する。アンガーマネジメントやストレスコントロールについての理解を深めた。 ② 生徒指導に関する事例を共有し、全職員の理解を深めた。
経理処理（公費、私費、現金管理）	学校徴収金・団体徴収金・部費等の事故を未然に防止する。	① 4月に私費会計ハンドブックを作成し、事故防止研修を実施した。また、ネットバンキングが活用できるよう条件整備を進めた。 ② 7月に会計担当者を集め、帳簿の整理と一括保管を徹底した。 ③ 年度末の処理業務が煩雑になりやすく、担当者の計画的な決算処理、予算立案、引継ぎが求められる。
業務執行体制	業務執行を適正に行い、事故防止に向けた適切な体制を構築する。	① 法令の諸規定に基づき、日常の点検を行い、定期的に各グループの振り返りを行いスモールステップの改善に努めた。 ② 「心に係ることは声にしよう」ということを日ごろから呼びかけて、初動の協力体制を整えた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を防止し、交通事故を未然に防ぐ。	交通法規の遵守と学期の節目や年末年始における教職員の綱紀保持について個々の認識を高めるためのセルフチェックと管理職の注意喚起を行った。
成績処理及び進路関係書類の作成	成績処理・調査書等に関する事故を未然に防止する。	① 成績処理業務の確認と一斉点検を適切に行った。 ② 文書等の作成から点検、発行まで生徒の進路決定に至る重要な業務であることを認識するとともにチェックの仕方を工夫改善しながら業務の向上に努めた。 ③ 今後、よりわかりやすく見やすい関係書類の作成を心がけ、スムーズに点検できるよう改善を進める。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	① 12月、1月、2月の入学者選抜の研修時に、ポイントを絞った事故防止の事例を踏まえた事故防止について注意喚起した。 ② 想定される緊急の対応についてはシミュレーションを行い、不測の事態に備えた。
公務外非行の防止	公務員としての自覚を持ち、政治的中立を厳守し、法令遵守の行動をとる。	① 関係法規の遵守や公務員の職務について、校長の講話や過去の啓発資料等により教職員の順法意識を高めた。 ② 服務ハンドブックを作成し、基本的内容の理解とともに意識向上に努めた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

・経理処理（公費、私費、現金管理）

各帳簿の一括管理やネットバンキングの活用で改善は進んできているが、年度末の決算処理や次年度予算書の作成については、引継ぎも含めて課題が残った。特に教育振興費等大口の会計においては出納件数も多く年度をまたいで調整がずれ込むなどスケジュール管理が課題となった。また、繰越金が多い会計もあり、各会計の徴収額の見直しの時期に来ている。私費会計ハンドブックを作成しているが、担当者の任せ切りにせず全職員の協力が必要であることを徹底したい。

・成績処理及び進路関係書類の作成

成績が日常の学習活動とリンクしていること前提に成績処理の見直しと事故を未然に防ぐシステム構築を進める必要がある。テストや提出物の管理や活用、さらに学期末、学年末のスケジュールについては円滑にポイントを押さえた処理作業が遂行できるよう進めたい。